

課題名	野生イネリソースのゲノム多様性情報の整備
課題管理者	倉田 のり 国立遺伝学研究所 生物遺伝資源センター
実施期間	2014 年度
概要・実施体制	<p>NBRP イネリソースは「イネ属の多様性を生かすリソース基盤の構築」を課題として、事業を推進しています。このリソースの中で、野生イネは世界各地から収集した9ゲノム23種の1700系統にのぼり、ほぼ全種をカバーする幅広い遺伝資源で構成されています。</p> <p>NBRPでは、これまでに280系統の野生イネコアコレクションの選定、各系統の詳細形質情報の調査、近縁野生種イネ350系統について10%のゲノム配列の公表などを行ってきました。また、野生イネ2倍体種(AA, BB, CC, EE, FF, GGなど)ゲノムについては、国際コンソーシアムとの連携により、ゲノム配列の解析が進められており、国立遺伝学研究所ではCCゲノムを担当し1系統については先攻して解読しています。</p> <p>本プログラムでは、保存野生イネリソースの代表系統300系統程度を目処に、次世代シーケンサーでゲノム配列のx10倍程度を解読し、各系統のゲノム長の50%以上をカバーした配列を得ることにより、系統に分子基盤とゲノム多様性の指標を与えます。この中で、CCゲノムの2種についてはより詳細なドラフト配列の構築を行います。これらを、高度に情報化された野生イネゲノムリソース情報として世界中のイネ研究者に提供します。これらのデータは、系統間の多様性解析の基本となり、また進化研究の基盤となり、リソースそのものと共に今後の研究コミュニティに貢献できます。</p> <div data-bbox="454 819 1337 1671" style="border: 2px solid blue; padding: 10px; text-align: center;">  <p>The composite image illustrates the project's focus on rice diversity and genomics. It includes: <ul style="list-style-type: none"> <li>Top left: A row of rice grains of various colors (red, brown, white) next to a ruler for scale.</li> <li>Middle left: A close-up of a rice panicle with green grains.</li> <li>Middle center: A detailed view of a rice panicle with many small grains.</li> <li>Middle right: A photograph of a rice plant in a blue pot.</li> <li>Bottom: A complex genomic map showing multiple chromosomes with various colored markers and labels, including 'Waxy' and 'PADI'.</li> </ul> </p></div>
成果	<a href="http://OryzaGenome">OryzaGenome</a>